2020年2月　第1版　作成

制酸剤

炭酸水素ナトリウム「コザカイ・M」

日本薬局方

炭酸水素ナトリウム

Sodium Bicarbonate

日本標準商品分類番号
872344

承認番号	16000AMZ04480000
薬価収載	1950年10月
販売開始	1949年 8月
再評価結果	1980年 3月

貯　　法：気密容器、室温保存
使用期限：ラベルに記載

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)
(1) ナトリウム摂取制限を必要とする患者（高ナトリウム血症、浮腫、妊娠高血圧症候群等）［ナトリウムの貯留増加により、症状が悪化するおそれがある。］
(2) ヘキサミンを投与中の患者（「相互作用」の項参照）

【組成・性状】
本剤1g中に、日局　炭酸水素ナトリウム1gを含有する。
本剤は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、特異な塩味がある。

【効能・効果】
（経口）
・下記疾患における制酸作用と症状の改善
胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）
・アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防
（含嗽・吸入）
・上気道炎の補助療法（粘液溶解）

【用法・用量】
炭酸水素ナトリウムとして、通常成人1日3～5gを数回に分割経口投与する。
含嗽、吸入には1回量1～2%液100mLを1日数回用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】
1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
1) 重篤な消化性潰瘍のある患者［胃酸の二次的分泌（リバウンド現象）により症状が悪化するおそれがある。］
2) 腎障害のある患者［ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。］
3) 心機能障害のある患者［ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。］
4) 肺機能障害のある患者［症状が悪化するおそれがある。］
5) 低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者［症状が悪化するおそれがある。］

2. 相互作用
(1) 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ヘキサミン (ヘキサミン静注液)	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり抗菌作用を発現するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。

(2) 併用注意（併用に注意すること）
本剤は制酸作用等を有しているので、他の薬剤の吸収・排泄にも影響を与えることがある。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
大量の牛乳 カルシウム製剤	milk-alkali syndrome(高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等)があらわれるおそれがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。	機序：代謝性アルカローシスが持続することにより、尿細管でのカルシウム再吸収が増加する。 危険因子：高カルシウム血症、代謝性アルカローシス、腎機能障害のある患者

3. 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類＼頻度	頻度不明
代謝異常[注)]	アルカローシス、ナトリウム蓄積による浮腫等
消化器	胃部膨満、胃酸の二次的分泌（リバウンド現象）

注）これらの症状があらわれた場合には、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと

4. 高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

【薬効薬理】
制酸作用：
1) 本剤1gは制酸性試験(Fuchs変法)において瞬時にpHを上昇し、0.1N塩酸約120mLを中和する。また、胃液のpHを上昇させペプシンを失活させる。なお、CO_2発生により、胃粘膜を刺激して二次的胃液分泌を促進する。
2) 本剤は吸収された後、主として重炭酸イオン（HCO_3^-）として作用し血液・体液のpHを上昇させる。過量投与によりアルカローシスをきたすことがある。
尿酸排泄作用：
本剤は尿のpH上昇作用により、尿酸溶解度が高まり、尿酸の排泄が促進され、尿路結石を予防する。
粘液溶解作用：
本剤は粘液のアルカリ化により粘液溶解作用を現す。

【有効成分に関する理化学的知見】
一般名：炭酸水素ナトリウム、重曹、重炭酸ナトリウム(Sodium Bicarbonate)
分子式：$NaHCO_3$
分子量：84.01
性　状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、特異な塩味がある。水にやや溶けやすく、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。湿った空気中で徐々に分解する。

【包装】
末　：500g、5kg
結晶状：500g、5kg

【文献請求先】
吉田製薬株式会社　学術部
〒164-0011　東京都中野区中央5－1－10
TEL 03－3381－2004
FAX 03－3381－7728

発売元　吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5－1－10
製造販売元　小堺製薬株式会社
東京都墨田区両国4－36－9